

Politically Correct?

夏休みが明けてから本日まで74日の課業日がありましたが、いかがでしたか？意外と短く感じたという人の方が多いのではないのでしょうか。

特に、少しでもたくさん勉強したいと考えていた3年生は、「もう冬休み？」みたいな感覚の人もあるかもしれません。いずれにしても、明日からの冬休みは、とにかく**本番の時間帯**を強く意識して過ごしてください。当日起きる時間に起床し、体にリズムを沁み込ませる…アラームなしでも自然と目が覚めてしまうくらいに…。

また、もしまだ試験会場に行ったことがないなんて人がいましたら…休みの間に必ず一度は行ってみてください。「当日が初めて」というのでは、それだけで後手を踏んでいることになります。

1・2年生の皆さんも、生活のリズムを意識して、健康第一、安全第一で過ごしてください。冬休みにはクリスマスやお正月がありますので、つい気を緩めがちになります。事故や事件に巻き込まれない(起こさない)ように、十分意識しましょう。

ところでそのクリスマスですが…昨今は大っぴらに取り上げることが難しくなっています。というのも、このことにまったく意味を見出さない人や、自分には関係ないというスタンスの人もあるからです。そこで近年は“Merry Xmas!”ではなく“**Happy Holidays!**”と言うことが多くなっているようです。

このような発想…特定の人に不快感や不利益を与えないように、多様性への配慮を怠らないこと…はPolitical Correctness(ポリコレ)と呼ばれ、日本でもずいぶん浸透してきています。例えば、昨今のテレビでは「今日は一日晴れの予報です！嬉しいですね！」などとは、とても言えません。

ただ…こういうことを考えるにつけ、「もう少し、みんな、寛容になってくれればなあ…」と思うことはありませんか？例えば、仏教徒が約95%を占めるタイでも、クリスマス・シーズンは街中がイルミネーションに彩られ、イベントとしてしっかり楽しんでいるようです。こういう姿勢…自分にとっては「不快だ」「意味ない」「筋が違う」けれど、大多数の人たちに譲歩して、まあ許容しようか…みたいな姿勢って、素晴らしいと思いませんか？

しかし、やはりこの問題は本当に難しく…自発的な譲歩ならよいのですが、「お前たちは少数派なんだから我慢しろよ」みたいな**同調圧力**をかけるようになってしまったら、それは極めて危険です。それだと、少数派や弱者が泣き寝入りしていた昭和に逆戻りです。

冬休みを前にして、かなり難しい問題を取り上げてしまいましたが…年末年始をのんびりと過ごしつつ、こういうことにちょっと思いを馳せてみるのもよいと思います。

ではみなさん、私からは敢えて“**Happy Xmas!**”と言わせてもらいます。私の大好きなジョン・レノンの曲のタイトルです。1971年のリリースですが、ジョンはこのとき既に、多様性を尊重することの大切さを、この曲の中で訴えかけています。

【おまけ】クリスマスに関するTRIVIA(トリビア)

1 × X'mas ○ Xmas

この X は、ギリシア語で「Christ」を意味する Χρῖστος(キリスト)の頭文字なのですが、I'm とか rock'n roll とかの影響でしょうか、日本ではなぜか X'mas という表記をよく見かけます。

アポストロフィーを使うのは、2語をつなげて表記する場合です。I am を I'm rock and roll を rock'n roll、let us を let's などです。Xmasは、元々1語なので、アポストロフィーは要らないのです。

ただ、さらに細かいことを言うと、Christmasは元々 Christ と mass を足した語です。mass は、「ミサ(キリスト教の祭礼集会)」という意味なので、Christmas はシンプルに「キリストのミサ」というのが語源です。

2 ×「恋人はサンタクロース」 ○「恋人がサンタクロース」

今の高校生でもこの歌、たぶん知らない人はほとんどいないと思うのですが…タイトルが紛らわしいですよ。ただこれは、歌詞の内容を考えればわかります。

近所のお姉さん：「今夜、サンタクロースが来るんだ！」

私(まだ子供)：「え～知らないのお？サンタなんて絵本だけの話だよ！」

近所のお姉さん：「いやいや私の場合、恋人がサンタクロースなのよ！」

ここで「は」にしちゃうと、何だか一般論みたいになってしまい、おかしいですよ。サンタのことが既に話題になっていた上で、私の場合は「恋人が」と強調したいので、「が」の方がよいということです。

因みに、この曲が日本でのクリスマスを変えたと言われています。つまり、それまでのクリスマスは「家族・子供のためのイベント」だったのですが、この曲がメジャーになった頃からは「恋人と過ごすもの」みたいなイメージになっていったのです。昭和にはよくあった「同調圧力」の最たるものと言えるかもしれませんね(笑)。

※英語では peer pressure 「仲間からの圧力」と言うそうです。

3 冬至祭

昨日は冬至でした。日本ではあまり話題になりませんが、北欧などの高緯度地方では、この日を境に太陽が戻ってくることを祝い、古代から冬至祭が行われていました。そしてこの行事とキリストの誕生が結びついてクリスマスになっていったというわけです。

ちょうど最近、本校図書室に『ムーミン谷の冬』が入ったようです。いつもなら冬眠するムーミンが、なぜか目覚めて眠れなくなってしまい、初めて「冬」を体験するお話です。これを読むと北欧の冬の様子がよくわかります。

因みに、『ムーミン谷の仲間たち』という短編集の最後に「もみの木」という話があるのですが、ここでも偶然冬眠から覚めてしまったムーミン一家が、「クリスマス」という、訳の分からないものにどう対処するか…ということが描かれています。

では、次は1月7日(水)にお会いしましょう…と言いたいところですが…私は7日(水)から11日(日)まで、WSC1の取組で韓国、蔚山(うるさん)科学高校へ行ってきます。みなさんは7日(水)に元気に登校してください！